

## 平成21年度第2回鳴門市地域公共交通会議・鳴門市公共交通連携協議会概要

**日 時**：平成21年11月30日（月）13時30分～16時00分

**場 所**：鳴門市役所本庁舎3階会議室

**出席者**：別紙

**傍聴者数**：2人

### 会議次第

1. 開会
  - ・市長あいさつ
2. 議事
  - (1) 地域バス実証運行（1月～10月）の現況報告について
  - (2) 鳴門市地域公共交通総合連携計画の策定について
    - ・公共交通利用実態調査の結果報告
    - ・アンケート調査の結果報告
    - ・地域の概況、公共交通の概況
    - ・鳴門市地域公共交通総合連携計画の方向性について
  - (3) デマンド交通システム先進自治体事例（長野県安曇野市）
  - (4) 今後の連携計画策定スケジュールについて
  - (5) その他
3. 閉会

### 会議の概要

1. 開会
  - 13時30分、開会。
  - ・市長あいさつ
2. 議事
  - (1) 鳴門市地域バス実証運行（1月～10月）の報告について
    - 運行開始（平成21年1月1日）から現在（10月末）までの実証運行の状況を、事務局より説明。
  - (2) 鳴門市地域公共交通総合連携計画策定について
    - 鳴門市地域公共交通総合連携計画策定について、「公共交通利用実態調査の結果報告」「アンケート調査の結果報告」「地域の概況、公共交通の概況」「鳴門市地域公共交通総合連携計画の方向性」について事務局より説明。

[利用者の意見について]

委員より、地域バスについて利用者からの要望や不満等出ていないのかという質問があり、事務局より、11月に高島地区・里浦地区で懇談会を開催した中で、高島地区では「朝8時25分発のあと12時40分まで無いので、10時～11時台の便を運行してほしい」「鳴門駅前での接続が悪い便がある」「一部フリー乗降にできないか」「貸し切り乗合タクシーの導入について検討してほしい」などの意見があった。また、里浦地区では「運動公園を回る便は、特定の時間以外利用者がほとんどおらず、時間的にもロスになるので何とかならないか」「翼山温泉に行くのに、引田線との連絡がうまくいかない便がある」「循環線との連絡がうまくいかない便がある」などの意見があり、財源等の問題はありますが、対応可能な部分については見直しを検討していきたいと回答した。

[予約便の状況について]

委員より、予約便の運行状況についてと運転手はどうしているのかについて質問があり、事務局より、便により稼働率に高低はあるが、これまで1回も運行しなかった便はないことなど予約便の稼働状況について説明した。また運転手については、予約が1時間前まで可能なので対応できるようにと定時便の運行もあるので待機していることを説明した。

関連して委員より、1回も予約が無かった便がないのであれば、高齢者にとっては苦勞があるので予約制は止めることも検討してはどうかという意見があった。

[実証運行について]

委員より、メリット・デメリットを含めた実証運行の総括をする必要があるのではないかという意見があり、事務局より、実証運行について大きな問題は起きておらず民間委託でも対応できることが実証されていると考えている。また、1便あたりの輸送人員も増加しており、経費節減にもつながっているため、市民の足を確保する方法として民間委託も有効な施策のひとつと考えていると説明した。

関連して委員より、1便あたりの輸送人員の増加や経費節減については、便数が減った影響もあるのではないかと。少ない便数であれば市営バスでもある程度経費節減ができると考えられ、偏った見方になっていないかとの意見があり、事務局より、確かに条件が全く同じではないが、市民の足を確保するための取り組みとしては一定の成果を挙げていると考えている。民間委託が前提とは考えていないが、市営バス事業の負担の軽減に前向きに取り組まなければ、市民の足が確保できなくなると考えている。また、市営バスの人的資源や車両等について今後こういった形で活かしていくのか検討課題にしていくと回答した。

関連して委員より、実証運行の検証のやり方は十分検討してほしいことと、実証運行の結果や住民の意見も踏まえた計画にするほうがいいのではないかという意見があり、事務局より、実証運行の結果も踏まえて検討していくと回答した。

[その他について]

委員より、航空便を使って鳴門公園へ来られる方への対応について、空港から鳴門公園まで送迎できる便をつくってほしいとの意見があった。

(3) デマンド交通システム先進自治体事例（長野県安曇野市）

デマンド交通システムについて事務局より説明し、先進自治体事例（長野県安曇野市）を放映。

[デマンド交通システムの導入について]

委員より、安曇野市の取り組みは以前から知っていたが、鳴門市は地域が広いことや、事例では利用するのに1回300円ということだったが、現在市バスが運行しており老人等無料優待券があることなど課題が多く、導入するのは難しいのではないかという意見があり、事務局より、導入を決めたわけではなく、市民のニーズに対応するひとつの方策として、定時定路線のバスとデマンド交通でそれぞれを補完するような形もできないかということで今後検討していきたいと考えていると説明した。

関連して委員より、老人等無料優待券については、アンケート調査結果で「高齢者もある程度、運賃を負担すべき」という回答も多くあったので、導入については時期や課題を十分検証してほしいとの意見があった。

(4) 今後の連携計画策定スケジュールについて

今後の連携計画策定スケジュールについて事務局より説明。

(5) その他

事務局より、市ホームページへの議事録公開について報告した。

3. 閉会

議長より、今回の協議内容について地域公共交通会議及び公共交通連携協議会として認めることとする旨の発言をもって閉会した。

16時00分閉会。

平成21年度第2回鳴門市地域公共交通会議・鳴門市公共交通連携協議会 出席者

		地域公共交通 会議委員	公共交通 連携協議会 委員	出欠
鳴門市自治振興連合会会長	林 一重	●		○
鳴門市社会福祉協議会会長	多智花 亨	●		○
鳴門市幼小中PTA連合会会長	小西 努	●		○
鳴門市老人クラブ連合会会長	山尾 秀男	●		○
鳴門市企業局次長	田村 豊	●	●	○
徳島バス(株)常務取締役兼営業部長	吉岡 正俊	●	●	○
(社)徳島県バス協会専務理事	関本 正康	●		○
徳島県タクシー協会(鳴門第一タクシー(有)取締役)	長尾 春代	●		○
鳴門市交通労働組合委員長	江澤 邦弘	●		○
国土交通省四国運輸局徳島運輸支局首席運輸企画専門官	佐野 満	●	オブザーバー	○
鳴門市副市長	平野 悦男	会長代理	会長	○
鳴門市企画総務部長	左倉 昇	●	副会長	○
国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所徳島国道出張所長	新池 保徳	●	●	○
徳島県東部県土整備局(鳴門)維持管理担当技術課長補佐	岸上 務	●	●	○
徳島県鳴門警察署交通課長	齋藤 茂	●	●	○
徳島県県土整備部運輸政策総局交通政策課課長補佐	中西 洋一	●		○
徳島大学大学院教授	山中 英生	会長	●	欠
徳島県県土整備部運輸政策総局交通政策課長	中本 頼明		●	○
国土交通省四国運輸局徳島運輸支局首席運輸企画専門官	石垣 融二		オブザーバー	○

・説明のため出席した者

鳴門市企画総務部総合政策局長	岡島 睦郎	
鳴門市企画総務部総合政策局企画調整課長	満壽 良史	事務局長
鳴門市企画総務部総合政策局企画調整課副課長	竹田 仁伸	事務局
鳴門市企画総務部総合政策局企画調整課主事	横手 史和	事務局